子ども会議新聞

No.6

2月18日発行

野島・東出・山岡・山下・大峯

みんなで作った歌、完成！

香美市の歌が完成しました。香美市内にある小・中・高等学校に歌詞を募集して、集まった歌詞を子ども会議実行委員のメンバーが一つの歌詞にしました。そして、その歌詞に堀内佳さんが作曲・編集をしてくれて、すてきな香美市の歌ができあがりました。

香美に生まれて幸せ♪

【香長】♪ここで生まれて幸せ！香美市を盛り上げるために市内の小中高生が作詞した歌「Happy to be born in Kami（香美市に生まれて幸せやき！）」が、このほど完成した。作曲と編曲は四万十市出身の全盲のシンガー・ソングライター、堀内佳さん(54)が手掛け、歌詞には「香美市にありがとう」「僕らのふるさと」など"地元愛"があふれている。児童生徒は、3月5日に開かれる市合併10周年のセレモニーで歌を披露する。（馬場 準）

小中高生作詞の歌完成

堀内佳さんが作曲

来月 合併10周年祝い披露

同市の小中高生が実行委員を務めた「子ども会議」が昨年5、6月に開かれ、「香美市を良くするために、市の歌を作りたい」との意見が出た。

そこで実行委が児童生徒から、歌にしたい言葉やフレーズを募集し、年末までに1番＝イラスト参照＝から3番までの歌詞にまとめた。作曲は、市内の中学校で定期的にコンサートを開いていた堀内さんに依頼。堀内さんは歌詞を点訳し、アコースティックギターでメロディーを付けた。

歌を収録したCDは1月末に完成し、市役所で実行委員や教員ら約20人にお披露目された。子どもたちは、堀内さんの優しい歌声に合わせて、作詞した曲を口ずさんでいた。

堀内さんは「作曲していて、皆さんの思いを感じ、うるっときました。それぞれの言葉に込められた気持ちもそのまま（メロディーに乗せた）」と話す。子どもたちも「歌詞の情景がきれいに浮かぶ」「みんなが笑顔になれる歌」と喜んでいた。

セレモニーは高知工科大で開かれ、子どもたちと一緒に堀内さんも出演する予定。堀内さんは（自身が出演する）ラジオやコンサートでも歌っていきたい」と話している。

香美市の子どもたちが作詞し、堀内佳さんが作曲、編曲した「Happy to be born in Kami」

「Happy to be born in Kami
（香美市に生まれて幸せやき！）」

目覚めた朝の空　透き通る青
今日が最高って感じる
僕らが住んでる　この街は
いつでもみんなを待ちゆうき

山のめぐみのおいしい空気を
体いっぱい吸い込んだ
元気があふれて　笑顔になる
そんな香美市にありがとう

LA LA LA
Happy to be born
Happy to be born
ここで生まれて幸せ

早速、各学校にCDを配りました。今、各学校が、給食放送で流したり、集会の中で歌練習をしたりして、みんなで歌を覚えているところです。すてきな歌なので、ぜひみなさんで歌ってほしいと思います。

3月5日のセレモニーへの参加も60人くらい集まっています。たくさんの方に聞いてもらえるので楽しみです。

堀内佳さんとの交流会の様子

2016年（平成28年）　2月7日（日）の高知新聞より